

みやけい交通安全ニュース

発行：宮崎県警察本部交通企画課 R4-No.8(2022.9.28)



登校中の小学1年生が犠牲となる 交通死亡事故発生！

令和4年9月15日午前7時10分頃、都城市鷹尾4丁目の駐車場において、登校中の小学1年生(6歳)が普通乗用自動車にはねられて亡くなる死亡事故が発生しました。

- ※ 登下校時間帯は特に、車の周囲の安全確認を徹底し、発進しましょう！
- ※ 子ども達にも車には運転席から見えない死角があること、運転者が歩行者などに気づいていないことがあることなどを繰り返し教えましょう。

農耕用作業車の交通事故防止



秋は、農作業が本格化する時期です。

農水省によると農耕作業車による交通事故を含む農作業死亡事故者数は、全国で年間300人前後で推移しており、宮崎県内でも、農耕作業車による交通事故が毎年発生しています。

乗用トラクター等の転落・転倒時の死亡事故を大幅に低減できるシートベルトの着用徹底について『しめよう！シートベルト』を重点推進テーマに、農作業安全確認運動が実施されています。

公道での交通事故への対策

- ポイント1 確実な運転操作と左右のブレーキ連結の確認
- ポイント2 安全キャブ・フレームの装着とシートベルト
・ヘルメットの着用
- ポイント3 ランプ類や低速車マークなどの取り付け



モデル横断歩道のカラー化

「モデル横断歩道」は、過去に横断中の歩行者が交通事故にあった場所や、歩行者と車の多い場所、通学路などにある信号機のない横断歩道を対象に、県内27カ所が指定されています。

横断歩道の交通ルール遵守とマナー向上を目指し、宮崎県警察では「モデル横断歩道」の横断歩道とダイヤモンドマークの周囲を赤色で塗装しました。

「横断歩道は歩行者優先！」です！



毎月10日は「県民交通安全の日」

地域の交通事故情勢に応じた活動を行う日です。地域や職場、学校、家庭等で交通安全活動に取り組みましょう。